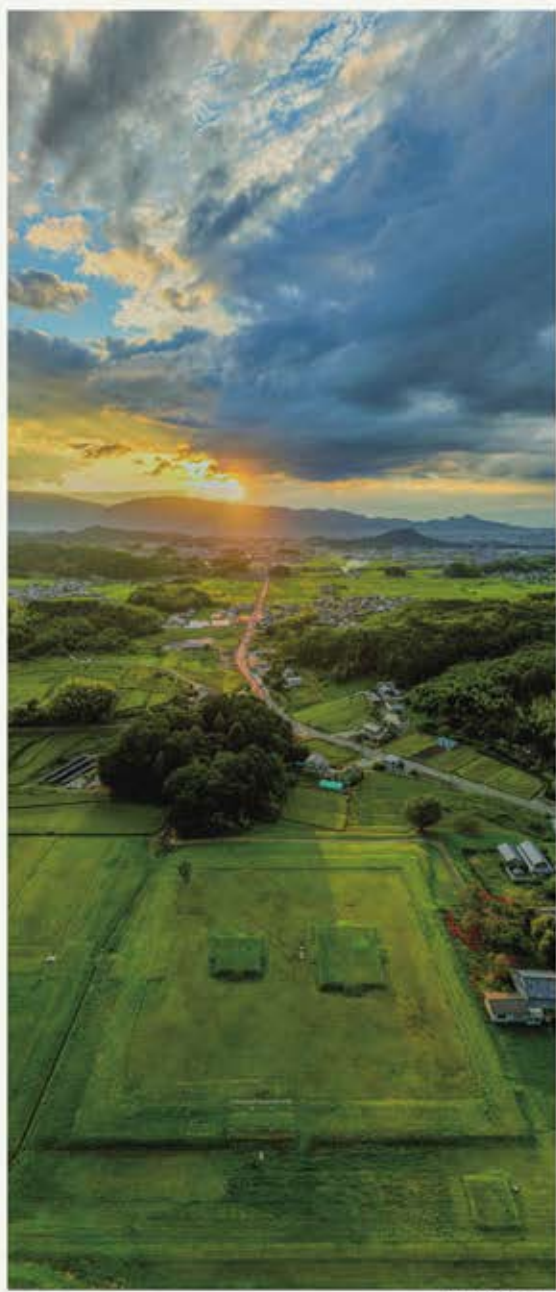


山田寺跡
(桜井市)



山田寺跡（空撮、東より）

山田寺跡
Yamada-dera Temple Site

山田寺は当時の国家の中心地である飛鳥盆地の北東端に築かれた蘇我倉家の氏寺です。

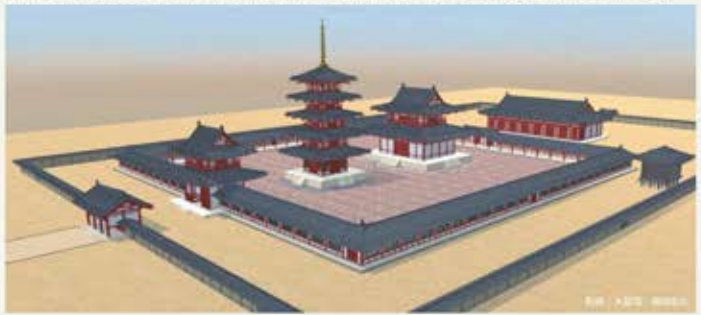
大陸や朝鮮半島の影響を受けた高度な技術がみられ、その造営過程は「日本書紀」など、古代の文献にも詳細に記されています。

それらによると、641年に蘇我倉山田石川麻呂によって造営が開始され、649年の石川麻呂の自害により一時中断しますが、彼の孫にあたる持統天皇など、天皇家の尽力により685年に完成しました。

1970年代から本格的な発掘調査がおこなわれ、特に倒壊した状態で出土した東面回廊は7世紀の寺院建築を知るうえで重要な成果でした。これは、世界最古の木造建築である法隆寺から約50年遡る貴重な事例です。

平安時代には藤原道長の参詣があるなど、12世紀頃に廃絶するまで多くの文献に登場する古代寺院であり、1921年に史蹟、1952年に特別史跡に指定され、現在まで大切に保存されています。

Yamada-dera was the ancestral temple of the Sogano Kura family, built at the northeastern edge of the Asuka Basin, the nation's center at the time. It displays advanced techniques influenced by the continent and the Korean Peninsula, and its construction process is detailed in ancient texts like the Nihon Shoki. According to these records, construction began in 641 under Sogano Kura Yamada no Ishikawamaro. It was temporarily halted after Ishikawamaro's suicide in 649 but was completed in 685 through the efforts of the imperial family, including his granddaughter, Empress Jitō. Full-scale excavations began in the 1970s. The discovery of the eastern corridor, unearthed in a collapsed state, was a particularly significant finding for understanding 7th-century temple architecture. This is a valuable example predating Horyūji Temple, the world's oldest wooden structure, by approximately 50 years. As an ancient temple appearing in numerous historical records until its abandonment around the 12th century—including visits by Fujiwara no Michinaga during the Heian period—it was designated a Historic Site in 1921 and a Special Historic Site in 1952, and has been carefully preserved to this day.



アクセス



大阪・京都・名古屋・奈良方面から (JR・近鉄桜井駅)
[バス] 奈良交通 (35系統: 万葉文化館行) バスで「山田寺」下車徒歩約3分。(約200m)
[シェアサイクル] HELLO CYCLING
ハローサイクリングのご利用料金・ご利用方法はこちらをご覧ください。→

大阪・京都方面から (近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅)
[バス] 「明日香周遊バス (赤かめ)」で「明日香美山・飛鳥資料館西」下車徒歩約11分。(約800m) バスのダイヤ・停留所はこちら→

観光に関するお問い合わせ
桜井市役所観光まちづくり課
☎0744-42-9111(内線3623)



YAMATO 桜井周遊ARガイドアプリ
本アプリを用いて、各解説ポイントにて山田寺の当時の建物を再現した3DCGを現実世界に投影する拡張現実体験や、山田寺に関する詳しい解説を聞くことができます。

無料アプリですが、アプリダウンロードやコンテンツの利用にかかる通信費はご自身の負担となります。

奈良文化財研究所飛鳥資料館

東面回廊
出土した建築部材を用いて再現展示されている。
提供：奈良文化財研究所

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村美山601
TEL 0744-54-3561
◆観覧時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)
◆休館日 毎週月曜日(祝日と重なれば翌平日)年末年始

「飛鳥」の歴史と文化を紹介する資料館。第1展示室は飛鳥宮跡や高松塚古墳・キトラ古墳などの墳墓、飛鳥寺など寺院に関する展示がある。また、第2展示室は山田寺跡に焦点をあてて展示している。